

# じせつめくり 勤労青少年会館



太陽が西に沈み、各家庭に灯がともるころ、青少年ホームに若人が集まってくる。

毎日の忙しい仕事の後、サークル活動で楽しく過ごし、英会話、ギター、書道、社交ダンスなど、いろいろな講座で豊かな教養と、社会性を身につけているのです。

10月には後期の講座が始まります。現在参加していない若人も仲間になってみませんか。

一方、青少年寮は、市外から市内

の事業所に就職してきた男子が入寮しています。

このように勤労青少年会館は、勤労青少年ホームと寮を備え、市内の企業に働く青少年の福利厚生のために合理的に利用されています。

利用できるのは30歳未満の働く若者です。

休館日は毎週日曜日と祝祭日で、利用時間は午後1時から9時までです。

# ぼくの夢わたしの夢

歴史学者になりたいな

や馬たい国



富士第二小六年  
山由之君  
よしゆき

小さいころのぼくは、先生になりたいと思っていました。みんなに、勉強を教えるのがおもしろそうだなと思ったからなのです。しかし、六年生になった今では、歴史の学者になりたいと考えています。歴史はおもしろいし、まだわかっていないことも、たくさんあるからです。そして、たくさん研究して、や馬たい国などをつきとめたいと思います。

# 看護婦さんになれたら



富士第二小六年  
高遠美和さん  
たかとうみわ

小さい時体が弱く、病院ばかり行っていたので、(ゼンソクなどにかかっている人は、かわいそうだなあ)と思います。それで、そのような人たちが入る施設があると少しは楽になるのではないかと思います。

丸火自然公園のような自然にめぐまれた所で、不自由な人のめんどうを見てあげる看護婦さんになれたらもっといいと思います。

昭和46年のわが国の飲料かんの消費量は、約16億個でしたが、56年には約100億個と推定され、10年間で約6倍以上にふえています。

国民一人当たりで推定すると56年には約85本程度のかん入りジュースや、ビールなどを飲んだ計算になります。このうち、投げ捨てなどによる散乱空きかんは、年間消費量の約1割と推定され、現在約20億個が全国に散乱しているといわれています。

自然や生活環境を損ねる空きかんの投げ捨てはやめ、きれいなまちづくりをすすめましょう。

—すすめよう ごみの減量・資源化—